



2019年ロータリー国際大会(ハンブルグ)

国際ロータリー第2540地区 ガバナー月信 7月 2020. No.1

～ 私のロータリーを語ろう ～

目次

- | | |
|--------------|--------------------------|
| ■ RI会長メッセージ | ■ 地区行事 |
| ■ ガバナーメッセージ | ・PETS兼地区研修・協議会の開催報告 |
| ■ ガバナー補佐挨拶 | ・会員増強連絡協議会の開催報告(南区・中区) |
| ■ 地区役員・委員長紹介 | ・PETS兼地区研修・協議会のWeb配信について |
| ■ 委員会活動目標 | ■ 会員数および出席率 |
| ・長期基盤拡大委員会 | ■ お知らせ |
| ・危機管理委員会 | |



ロータリーは
機会の扉を開く

第2540地区 2020-21年度ガバナー 工藤 智教



2020-21 年度 R I 会長

ホルガー・クナーク



今は楽観視するべき時ではないと思われるかもしれませんが、今こそ楽観視するべきなのです。ロータリー創立のずっと前から、人類は進歩と忍耐という能力を試すような重大な危機に見舞われてきました。ロータリーの時代になり、さらに数多くの悲劇に直面してきました。それを乗り越えて人類は今に至っています。そして、ロータリーは常に世界を癒すために尽力してきました。

どの危機も、再生と成長の機会なのです。新型コロナ危機が始まったばかりの頃、「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマをサンディエゴで開催された国際協議会で発表しましたが、これは私が長年にわたって信条としてきた言葉です。

ロータリーは入会したクラブがすべてではなく、そのクラブを通じて機会の扉が開かれます。ほかの人たちや自分自身のために機会を生み出すために私たちは活動しています。小さなことでも、大きなことでも、ロータリーの奉仕行為は助けを必要としている人びとのために機会を生み出します。そして、ロータリーはあらゆる人びとのために、より豊かで、より有意義な人生を、世界中の友とともに中核的価値観に基づいて送るための機会の扉を開くのです。

政府や団体はロータリーの活動にとって大きな意味合いを持つ公衆衛生のパートナーシップへの理解を深めています。自粛生活の中で絆を求め、地域社会の助けになりたいと願う人びとは、ロータリーが創立以来掲げてきた理念を信奉するようになっていきます。

これは朗報ですが、これまで以上にロータリーが活躍する機会が増えているからといって、成功が約束されているわけではありません。世界は急速に変化しています。それは、今回の危機が

始まる前からのことです。お昼の例会からオンラインの会合への移行が始まりつつありました。会合の大半が Zoom や Skype で行われるようになる前から、ソーシャルメディアで友情がつちかわれ、旧交が温められ、交流が行われるようになっていました。若い世代には奉仕への強い欲求があります。が、ロータリーのような団体で重要な役割を任せてもらえるのかどうか、違う種類のつながりを築く方がより大きな影響を及ぼせるのではないか、と私たちは問われています。今こそ、すべての選択肢を検討して、新しい方法を試し、ロータリーを未来に向けてそなえる時です。

コロナ禍で誰もが変化に適応せざるを得ませんでした。これはよいことです。ロータリーの新しい行動計画では、適応能力を鍛えるように呼びかけています。しかし、適応するだけでは充分ではありません。この新しい時代の問題に対処し、世界が切実に必要としているロータリーになるためには、私たちは変わらなくてはなりません。それも、劇的に。

それが、今年度だけでなく、今後のロータリーの課題です。理想を実現するための手立てを求めている若い世代の考えやエネルギー、やる気を心から歓迎し、新しい時代に合わせてロータリーを変えていけるかどうかは私たちにかかっています。これまでの活動をただそのままオンラインに移行するのではなく、デジタル時代に完全に適応した団体にならなくてはなりません。

世界はこれまで以上にロータリーを必要としています。今後何世代にもわたってロータリーが機会の扉を開いていくようにできるかどうかは私たち次第です。



国際ロータリー第 2540 地区
2020-21 年度 ガバナー

工藤 智教

～ 私のロータリーを語ろう ～

2020-21 年度 スタートします。

新しいロータリー年度が始まりました。東京オリンピックイヤーあるいは日本ロータリー100周年を祝う年として賑やかにオープンするはずでしたが、新型コロナ感染予防に気を遣いながらの静かな始まりになりました。ガバナーの性格は？ クラブに、地区に何をするのか？ 信頼できるのか？ 会員の皆様には興味津々のことと想います。

まずは私の性格です。2018 年 6 月、2 年後のガバナーを頼まれて、頼まれて、断って、また頼まれて、困りました。ロータリーを退会すれば困りごとは終わりになりますが、大館に住み続けるならば、以後の人生は格好悪いなどと悩みます。『重くとも我が荷は人にゆずるまじ、担うにつれて荷は軽くなる』なぜかこの言葉が目に入りました。20 年以上お世話になったロータリー、今が恩返しする「縁」かな？ 残る問題は三つ、お寺の法務をどうするか、現代のロータリーは全然知らない。体力と暗記力不可の年齢、眠れない日が続きました。解決策は良案なしで堂々巡り、残り時間が少なくなり、地区が困るだろう、何とかかなるだろうと捨て鉢の気持ちで引き受けを決心したのであります。

ガバナーノミニはロータリーを勉強する時間でした。ガバナーエレクトは考える時間であり、会員から意見を収集する時間でした。国際協議会ではリーダーの方法を体験し、世界のガバナーエレクトを意識する時間でした。世界で 525 人のガバナーが誕生します。日本は 34 地区あります。34 人の同期生、私が最年長です。他地区の情報を聞くことができました。私自身、第 2540 地区の内情に通じていたわけではありませんが、他地区の活動は深いものがあると知り、驚きの気持ちで耳を傾けました。

嶋田年度は積極的に前向きにたくさんの種を撒いてくれました。その種を芽吹かせ育てることは良い変化を生み、年度末には、クラブ力、地区力が向上しているに違いありません。世の中は諸行無常です。時代の環境は自分が好むと好まざるにかかわらず変化してゆきます。不変と考えたい事柄はロータリーの中核的価値観、その不変の中核的価値観を根底に置いて、環境変化を読みとり、ロータリーに取り入れる、ロータリアンは奉仕活動を通して変化を学び、学びから自分が変化して行きます。すなわち「ロータリーは変わらなければならない」の「変わる」は、自分の内面的変化も含みます。私がガバナー補佐をした 15 年前には無かった制度や学びの機会がたくさん用意されました。例えば危機管理、マイ・ロータリー利用、ロータリーリーダースhip研究会など多々です。私たちはこの変化を学び、取り入れて行かねばなりません。

「楽しいクラブ」との言葉を聞きますが、「楽しい」と言うことはどういうことか、目標とした奉仕活動がたとえ困難であったとしても、困難をクリアしながら解決に向かう工程、その研究を「楽しい」と思う行動であろうと思います。目標が一つ終わったときに、達成感という喜びを味わえるのは、楽しいクラブの証しであり、そのとき自分の中に何かよい変化が起きているはずであろうと思います。クラブが立てた計画、地区が立てた計画が共に実現するよう、考えながら手を取りあって進め、力強いクラブと力強い地区を目指していきます。

皆様からお預かりした地区運営資金を無駄がないように遣い、効率が高い行動でクラブの成長を心掛けてまいります。

北区ガバナー補佐(大館鹿角分区)

佐々木 孝憲 (鷹巣 RC)



コロナ禍の収束をただただ祈るばかりではありますが、2020-21 北区ガバナー補佐を拝命し心引き締まる思いであります。

工藤ガバナーのスローガン「私のロータリーを語ろう」は多くの人に自分たちのロータリーの体験談を伝えようというものです。価値観を再認識し、その上でロータリーの理解者を増やし活動分野を開いていく。戦略的な方針であります。ガバナー補佐としての役割は、担当各クラブとの意見、情報交換をできるだけ密にして工藤ガバナーの方針を説明し、第 2540 地区の目標達成を目指すものです。特に My ROTARY の活用による明確な目標の設定と確認は、活動の大きなツールになると考えます。一年間よろしくお願いいたします。

北区ガバナー補佐(能代男鹿分区)

岡 正英 (山本 RC)



年齢的にも「もうロータリーをゆっくり楽しもう」と思っていたら、この大任から逃れられない状態になりました。

ロータリーでは「頼まれたら断ることはできない」と入会当初にたたき込まれたことが、身に染みついてしまっているからです。

これまでの経験を生かしながら工藤ガバナーを補佐し、その方針が各クラブ・会員に伝わるよう頑張ってみます。

どうぞよろしくお願いいたします。

中区ガバナー補佐(秋田分区)

岡本 啓一 (秋田 RC)



今年度、中区（秋田分区）ガバナー補佐をお引き受けいたしました。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年に入り新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、ロータリーでも世界大会を中止にするという大きい影響を受けております。前年度の嶋田ガバナーは仕上げの大切な時期に様々な制約に制限されることとなり、心残りもおありかと思えます。一方、新年度に向け、会長エレクト研修セミナー（PETS）はじめ地区研修会、協議会等、重要な研修の機会を簡素化したり、WEB 放送に代え、実施されましたが、工藤ガバナーはじめ、スタッフの皆様の想いを十分に伝えることができていないかもしれません。これからガバナーとそのスタッフチームの皆様と分区内クラブの皆様を繋ぐ役割を果たしていけるよう力を尽くしたいと考えております。

至らぬ点多々あると存じます。ロータリーのことを勉強する機会ととらえておりますので、分区内のクラブの会長、幹事の皆様には何かございましたら、ご遠慮なく連絡いただきますようお願い申し上げます。



中区ガバナー補佐(本荘由利分区)

本間 諭 (本荘南 RC)

この度 2020-21 年度中区ガバナー補佐を拝命致しました、本荘南ロータリークラブの本間諭であります。

1992 年本荘南ロータリークラブ創立のチャーターメンバーですが、中身は未熟者であります。

今後、本荘由利分区 6 クラブのロータリアンの皆様から、ご指導ご協力を頂きながら、工藤智教ガバナーの方針に従って、地区活性化の一助になればと思っております。

コロナ禍の船出となりますが、新しい発想をもって頑張っ参りたいと思います。



南区ガバナー補佐(大曲仙北分区)

橘 百合子 (大曲南 RC)

工藤智教ガバナーのご指導の下、大曲仙北 6 クラブを担当することになりました。各クラブにはこんな風になりたいと夢を目指すロータリアンの先輩がたくさんいます。ガバナー補佐という大役をいただいたのはこの後一年間皆様に教えていただきながら一緒に考え学んでいく機会を与えていただいたものと思います。先輩ロータリアンが描くロータリーに少しでも近づきますよう

お手伝いしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

先日の新聞に厚生労働省から発表された 2019 年人口動態統計が掲載されていました。それによりますと、秋田県は出生率が全国で一番低く死亡率が一番高くなっていました。人口減少に歯止めがかからない状態です。私たちの地元秋田県の少子化対策に、ロータリークラブもいろいろな形を通して関わっていきたいと考えました。



南区ガバナー補佐(横手湯沢分区)

岩佐 信宏 (横手南 RC)

今年度、南区(横手・湯沢分区)のガバナー補佐を務めさせていただきます。

コロナウイルス感染症は、近代史の大きな転換点になっていくような気がします。それは時代の分水嶺と言って良いかもしれません。東日本大震災という災厄を、絆という概念で止揚できたように、この災禍を新しい世界を作るためのきっかけにできればと考えています。

新しい時代の新しいロータリーのあるべき姿、それを工藤智教ガバナーのリーダーシップの元、それを皆で考えていければと思っています。



地区幹事
明石 久和
(大館南 RC)



地区財務委員長
乳井 仁
(大館南 RC)



地区会計長
柳沢 吉夫
(大館南 RC)



ロータリーの友委員会
委員長 桑山 教善
(大館南 RC)



会員拡大増強委員会
委員長 斎藤 全平
(大館南 RC)



長期基盤拡大委員会
委員長 淡路 徹
(潟上 RC)



公共イメージ委員会
委員長 佐藤 勝美
(大館南 RC)



職業奉仕委員会
委員長 伊藤 秀基
(大館南 RC)



社会奉仕委員会
委員長 佐賀 晴樹
(秋田東 RC)



国際奉仕委員会
委員長 横井 弘明
(大館南 RC)



インターアクト・ローア・アクト委員会
委員長 高橋 佐知
(角館 RC)



青少年奉仕交換プログラム委員会
委員長 加賀 美奈
(大曲 RC)



危機管理委員会
委員長 宮下 正弘
(秋田 RC)



地区大会委員会
委員長 根田 朋武
(大館南 RC)



ロータリー財団委員会
委員長 塩谷 國太郎
(大曲 RC)



ロータリー米山記念奨学委員会
委員長 阿部 大助
(秋田中央 RC)



ロータリー学友委員会
委員長 土田 博美
(秋田北 RC)



RI 国際大会推進委員会
委員長 中村 博美
(大館南 RC)

■長期基盤拡大委員会

委員長 淡路 徹（潟上 RC）

分区分別会員増強連絡協議会と地区長期基盤拡大委員会について

新年度から地区長期基盤拡大委員会が設置されます。

地区会員増強目標が変わらないように長期基盤拡大戦略に基づいて基盤拡大継続を図り、合わせて同じ志に挑戦する南区、中区、北区の会員の中から新たな仲間づくりをします。

具体的には 1,200 人の壁を越えるために各クラブにイノベーションを起こそうということです。

その一段が、各クラブへアンケートを実施し各クラブの実態調査です。将来の地区会員増強委員会の長期方針と計画立案のベースとなるのです。この内容を次年度の GE、次々年度の GN、につなげ、地区の長期にわたる基盤拡大の方向性を共有する事です。

二段が地区会員増強連絡協議会の開催です。

地区会員増強連絡協議会の趣旨は「42 クラブの現状」アンケート調査と、会員増強連絡協議会で「職業分類表に新会員候補者を充填」し「推薦状送付する」流れを「全クラブが会員増強策として共有」し、今年度末に 24 項目の具体的対策を各クラブの現状に合わせ自クラブらしい会員増強に努め目標を達成して頂きたいのです。

地区は、1,200 人目標の理由を毎年説明し、お願いから各クラブの自主目標達成の要望へと変わって何年にもなります。まるで新型コロナに対応する「お願い」から「協力要請」と同じです。しかし R I は、地区の会員数が規定数以下になった場合は、他地区との吸収合併の考えは変えていません。

第 2540 地区は吸収合併を避けるため「変える」「変わる」らねばならない状況に直面していると感じます。

第 2540 地区各分区分「各クラブの意識を変える」「クラブ会員個々人が変わる」行動を実行に移すべき時に来ています。各クラブの自主目標達成のやり方を会員増強連絡協議会で会得し実行に移し実績を残して頂きたいのです。

特に分区分、地域の環境が似ていれば、話し合いからクラブ同士の連携や統合等、変化のきっかけづくりになり、クラブが創立した頃のクラブの魅力を発信出来る可能性を見出したいのです。

地区会員増強連絡協議会と長期基盤拡大委員会が、新年度の各クラブ会長さんに、クラブ会員増強と会員維持の具体的目標を定めて戴き、クラブが目標を達成し実績を残すための場として提案します。

地区長期基盤拡大委員会は 42 クラブにイノベーションを訴え、第 2540 地区にイノベーションを起すのです。

■危機管理委員会

委員長 宮下 正弘（秋田 RC）

1、危機管理委員会のこれまで

今まで当地区には、何か対応すべき事案が発生したときに、危機管理委員長がガバナーの指示のもと関係する方面と連絡を取って対応していた。

今後当地区が青少年交換プログラムや国際奉仕活動を活発化してゆくには、「危機管理」の体制構築が必須であり、また自然災害、新型コロナで現実的になった国際感染症の発生など様々な「危機」の発生が現実化している。

このことから嶋田康子ガバナーの主導のもと、危機管理委員会が数次開催され、「国際ロータリー第 2540 地区危機管理総則」と「国際ロータリー第 2540 地区危機管理委員会規定」が弁護士会員による専門的な検討を経て、5 月 31 日の地区協議会に承認された。これにより 2020 年 7 月から始まる工藤年度の地区便覧に掲載される。

2、今年度の活動

ロータリーにとっての危機とは何か。危機管理総則第 2 条(ロータリーにとっての危機管理)には「国際ロータリー第 2540 地区、地区内ロータリークラブ、ロータリアンにとって、『災害やハラスメント等の全て』を危機管理の『危機』とする。ただし、ロータリークラブ内あるいはロータリアン相互間の人的・内的諸問題は除く」と規定されている。このことをより深化させて会員に具体的なイメージを提供し、また規定に従って委員会を組織して、危機管理委員会の基礎を作り、また地区内に浸透させてゆきたい。

地区行事

■PETS 兼地区研修・協議会の開催報告

地区幹事 明石 久和

新型コロナウイルスの影響にて、3密を避けるため、会長エレクト研修セミナーと地区研修・協議会を合体させて 5 月 31 日に、大館市「プラザ杉の子」にて開催しました。

「100人以上集まるのは不可、1室に長時間集まるのは控えねばならない」との意見を踏まえ、出席者は会長エレクトを中心に、必要最低限に抑え、プログラムも絞り込んで、懇親会もなしとさせていただきました。規約改定、予算審議は郵便投票もありますが、会員の生の声を聴きたいので、敢えて開催しましたが、お陰様で活発な議論をしていただき、主催者として有難く思っております。当日、参加できなかった会員の為に、地区のホームページ上でWEB配信しておりますのでご覧ください。



■南区・会員増強連絡協議会の開催報告

ガバナー 工藤 智教

日時：2020年6月6日(土) 会場：大曲エンパイヤホテル 参加者：35人

私たちは、私の挨拶、斎藤委員長の提案、淡路委員長の敵案、を熱く伝えました。しかし、聞く側はどうだったか？ 提案されて短時間しか経過していませんから理解が不十分であったことも理由の一つ。またご出席者の中には、また会員増強かとうんざりした気持ちで義務的に座っておられる方も居ったかもしれません。その為か、討論議題無しに、一般的な意見を聞いて討論は終わりました。ガバナー補佐からの報告によりますと、①現状を訴える事柄、②新人勧誘は大変なエネルギーが要る。退会防止が最善の方法である、と述べています。次回はアンケートを基に具体的な討論で参加者に考えてもらいたい。

■中区・会員増強連絡協議会の開催報告

副幹事 土舘 守

日時：2020年6月13日(土) 会場：秋田キャッスルホテル 参加者：40人

秋田区分は7RCですが、会員拡大のマーケットが重なっている。候補者が他所のクラブからも声をかけられているので、かえって1つのクラブを選んで入会しづらい悩みがある。淡路委員長から提示された資料を見て、まだまだ会員拡大の余地はあると思った。7クラブとも24項目をやっているクラブは無い。もっともっと努力してこの後、良い結果を報告したい。

本荘・由利区分は6クラブ中4クラブが10人以下のクラブ。会員増強が厳しいのに、更にコロナショックが追い打ちを掛けている。雇用を守りながらロータリー活動をするのは大変なことだと思う。また、少人数だと財政的に厳しい。ロータリーは世界で良い事をしている。崇高な精神を持っている方が今残っている。気持ちの持ちようで、ミッションが成功するかが、決まる。会員増強は、地区の為だけではなく、自分の為、自分のクラブの為になる。Eクラブやネットで若い会員を募る、女性だけのクラブも検討したい。前向きに考え行動したい。



新型コロナウイルスによる自粛は、この第 2540 地区も直撃しました。3 月以降、ほぼ全てのクラブ例会が休会となり、ロータリー活動やクラブへの連絡手段すら自粛期間中失われてしまいました。

今後、社会的距離を取る「新しい生活様式」を守りながら、ロータリー活動をしていかなければならない中、ネットを使ったりリモート技術で事態を開き、新しいロータリー活動の形を示すことを迫られています。

当地区においても各活動が中止になる中、工藤 G E から「会長エレクト研修セミナー」と「地区研修・協議会」だけは、次年度の活動のスタートとして各クラブや委員会のために開催する方向で考えてもらいたいという意向を受け、皆で考えたのが、①人数を最小限に限定した開催、②東京から来賓として講演する予定でした水野功さんの Web によるリモート会議での参加、③来場が叶わなかったロータリアン向けに会議の様子を YouTube で配信するというものでした。

このうち、②の水野さんのリモート講演は、事前に 2 度ほど練習したところ、回線への不安が拭えず、録画したものを放映し、質疑応答のみ当日リモートで行うことにしました。

結果は成功したと言えるでしょう。水野さんの的確な受け答えが会場に居る参加者を強く惹き付けていたのを感じることが出来ました。

③の You Tube 配信ですが、思ったほど視聴数が伸びていないのが実感です。ネットの特徴である双方向性が活かせなかったのかなというのが大きな原因と考えます。他地区でも地区大会の You Tube 配信がありましたが、視聴数はさほど伸びていないようでした。

コロナ後のロータリー活動でネットとの融合がどう進むか戸惑いますが、重要なのは技術ではなく、どう使いこなすかだと思います。前に進まなければ洗練されることがないのも事実です。

繰り返しますが、水野さんの講演と質疑応答の YouTube 映像は担当としてお勧めします！ぜひご覧ください！



第2540地区 2020年5月の会員数および出席率

分 区	クラブ名	会員数				例会 出席率
		7月1日	月末	女性	40歳 未満	
大館・鹿角	大 館	37	37	1	1	53.63%
	花 輪	21	22	0	0	90.61%
	鷹 巣	13	11	0	0	—
	大 館 北	17	20	2	1	58.75%
	十和田秋	27	29	1	0	—
	大 館 南	33	33	0	0	72.25%
	大 館 中央	17	18	1	0	—
	小計	165	170	5	2	68.81%
能代・男鹿	能 代	59	61	8	4	57.38%
	能 代 南	10	10	2	0	90.00%
	男 鹿	11	11	3	0	70.00%
	二 ツ 井	7	7	0	1	71.00%
	五 城 目	13	13	0	0	—
	潟 上	34	35	0	1	62.75%
	男 鹿 北	15	15	0	0	—
	山 本	16	17	0	2	86.28%
	能代白神	16	15	7	0	76.67%
	小計	181	184	20	8	73.44%
秋 田	秋 田	84	93	3	0	96.00%
	秋 田 東	81	91	6	4	—
	秋 田 港	38	40	3	0	78.75%
	秋 田 北	47	48	2	1	100.00%
	秋 田 南	26	27	2	1	—
	秋 田 中央	39	40	4	0	85.00%
	秋 田 西	17	19	3	0	100.00%
	小計	332	358	23	6	91.95%

分 区	クラブ名	会員数				例会 出席率
		7月1日	月末	女性	40歳 未満	
本 荘 ・ 由 利	本 荘	30	31	0	0	94.62%
	矢 島	8	8	0	0	41.67%
	仁 賀 保	7	8	0	0	100.00%
	象 潟	7	7	0	0	85.50%
	本 荘 東	22	20	0	1	88.30%
	本 荘 南	8	7	0	0	85.71%
	小計	82	81	0	1	82.63%
大 曲 ・ 仙 北	大 曲	49	46	4	3	76.13%
	角 館	15	15	2	1	89.10%
	大 曲 南	12	14	2	0	100.00%
	大 曲 中央	10	10	3	1	80.00%
	田 沢 湖	17	17	1	1	82.35%
	大 曲 仙 北	11	13	5	0	55.00%
	小計	114	115	17	6	80.43%
横 手 ・ 湯 沢	湯 沢	62	63	1	2	61.18%
	横 手	62	62	4	1	70.30%
	横 手 南	64	66	2	1	92.18%
	西馬音内	18	18	0	4	—
	湯 沢 南	16	17	1	2	58.33%
	稲 川	10	10	2	0	90.00%
	横 手 東	13	13	1	0	76.92%
	小計	245	249	11	10	74.82%
合計(42RC)		1,119	1,157	76	33	78.72%

※ 例会出席率の"—"はコロナ感染予防のため全て休会

お知らせ

- 7月のロータリーレート … 1ドル = 107円
- 米山記念奨学会寄付金
 - ①普通寄付金 … クラブで定める
 - ②特別寄付金 … 1人5,000円以上
 に①②合わせて、1人10,000円以上と追記する。

地区行事

〔会員基盤向上セミナー〕

日時 7月4日(土) 13:00 ~ 16:20

場所 プラザ杉の子(大館市) (登録受付12:00)

出席義務者 会員拡大増強、ロータリー財団、ロータリー米山記念奨学、青少年関係の委員長・委員

〔北区・会員増強連絡協議会〕

日時 7月25日(土) 13:00 ~ 15:00

場所 プラザ杉の子(大館市)

出席義務者 会長、幹事、会員拡大増強委員長

国際ロータリー第2540地区 2020-21ガバナー事務所

〒017-0012

秋田県大館市釈迦内字家後29-13

TEL : 0186-59-6750

FAX : 0186-59-6751

E-mail : rid2540g20-21@mbr.sphere.ne.jp

U R L : <https://rid2540akita.nrg/>

